

参加したインターンシップについて教えてください

私は学部3年と修士1年の時にそれぞれインターンシップに参加しました。学部生時代は広く社会を見てみたいと考え、ITベンチャー企業と信託銀行の短期インターンシップで、新規事業立案などをテーマにしたグループワークに取り組みました。修士1年のときは海外留学していたのでポストンキャリアフォーラムに参加し、そこで興味を持った企業に個別に連絡を取って、戦略コンサルティングファームと投資銀行のインターンシップに参加しました。その時は、実在する企業における事業戦略立案やM&Aをテーマにしたグループワークに挑みました。

参加してどんなことを感じましたか？

初めてインターンシップに参加した学部生のときは、社会や仕事についての理解がほとんどない状態だったので、そのぶん衝撃は大きかったですね。それまでは「働く」ということをあまり深く



考えたことがなくて、「周囲の先輩達と同じように大手企業でサラリーマンになるのかな」という程度でした。もともと、仕事に対して、「つまらないもの」という先入観があつてあまりいいイメージはなかったのですが、企業によつてはゼロから新しいものを生み出す非常に刺激的な仕事もある。実際にインターンシップに参加することで、社会、仕事、ビジネスモデルの多様性に気付くことができました。「人や社風も会社によつてこんなに違うのか」と驚かされ、視野が一気に広がりましたね。この経験がきっかけで、「将来の可能性はもっとあるはず。本当にやりたいことはなんなのか」といったことを考えるようになりました。この経験があつたらこそ自分と向き合うことがで

慶應義塾大学大学院 理工学研究科
開放環境科学専攻 修士2年
五月女 良平さん
外資系戦略コンサルティングファーム 内々定

先輩体験談 01

“働く”イメージが一変し、 将来の可能性が一気に広がった

き、その後のNPO立ち上げや大学院進学・留学といった行動につながつたと感じています。

インターンシップの選考対策はどのように進めましたか？

コンサルの選考を受ける際に判断推理の問題を解いたり、フェルミ推定の本を読んだりしました。面接で意識したのは、作り置きの言葉ではなく、面接官としっかりコミュニケーションのキャッチボールをすること。自分らしさをしっかり伝えられるよう努めました。

インターンシップに参加して就職活動に役立つことは？

インターンシップやその選考を通じて、自分は「考えて議論することが好きなんだ」ということがはっきり分かつたことですね。戦略コンサルティングファームのグループワークを通じて、「こんな仕事をやりたい」と確信することができました。もうひとつは、今まで気付かなかった自分の得手、不得手を認識できた事。チームの中でリーダーシップを上

手く発揮できた一方で、コンサルティングファームで働くのであれば思考力をもっと鍛えなければ通用しないと痛感しました。業務体験を通じて現役コンサルタンの方と比較することで自分を客観視でき、もっと伸ばさなければいけない部分を理解できたのは大きかったですね。また、インターンシップを通じて仲間と出会えた事も大きな収穫で、いろんなバックグラウンドを持つ優秀な人たちと議論できたことは非常に刺激になりました。

これからインターンシップや就職活動を控えている理系学生へのアドバイスをお願いします

就職活動については様々な情報が出回っているので、周囲に流されてしまう方もいるかもしれませんが、そんな状況でも、自分自身としっかり向き合い、自分がやりたいことは何なのかしっかり考える時間を確保してほしいですね。やりたいことが、なかなか見つからない方は、インターンシップなどに参加してみることで自分の視野を広げる良いきっかけになるかもしれません。

参加したインターンシップについて教えてください

ITベンチャー、外資系金融機関、戦略コンサルティングファームのインターンシップに参加しました。ITベンチャーは2社のプログラムに参加して、いずれも1〜2日の短期プログラムで新規事業の企画立案といったテーマにチームで挑みました。金融機関では2日間でM&A戦略の企画提案、コンサルでは4日間にわたって特定企業におけるシェア向上戦略をリサーチのうえ企画しました。

参加してどんなことを感じましたか？

最初に参加したITベンチャーのインターンシップで感じたのは、自分の力不足でした。参加者メンバー同士で議論を重ね、成果物を作り上げていく過程で自分の足りないところが見えてきたと思います。

コンサルのインターンシップでは、「仕事・会社選び」に対する考え方が変わりましたね。飛び抜けて優秀なコンサルタントが沢山



いて、彼らの熱意と仕事に対する姿勢に圧倒されたんです。同社のインターンシップは興味を持って取り組むことができ、私の成果物もそれなりに評価してもらえました。ですが、コンサルタントの方と同じような強い熱意を持って彼らと同じような働き方を続けられるかと考えたときに少し違和感があったんです。それから「自分にとって本当にマッチした働き方は何か」ということを真剣に考えるようになりました。

インターンシップの選考対策はどのように進めましたか？

当初はコンサルを中心に受けていたこともあって、筆記試験対策のためにSPIや公務員試験の判断数理の問題集を解いたり、ケー

case

02

インターン

憧れだけでなく、本当に適性があるかを見極められる貴重な機会

東京工業大学大学院 総合理工学研究科
知能システム科学専攻 修士2年

山岸 昂介さん

新日鉄住金ソリューションズ株式会社 内々定

ス面接の対策準備などをしました。早い段階で、試験の対策準備に取り組み、選考試験に挑んだ経験は、本選考で役立ちました。また、エントリーシートをサマーインターンシップの時期に書いたことで、自己分析を深めることができたと感じています。

インターンシップに参加して就職活動に役立ったことは？

いろんな業界のインターンシップに参加して、その業界・企業における仕事の厳しさや熱い想いを社員の方から聞くことができ、良い意味で「ミイハ」な気持ちが砕かれたことですね（笑）。仕事は一生付き合うものですから、相應の覚悟や想いを持つてる仕事をしっかりと探そうと思うようになりました。

また、コンサルのインターンでは手厳しいフィードバックを貰ったのですが、振り返ってみると非常にありがたかったですね。俯瞰的な視点や熱意といった仕事に対する姿勢に対して裏表のないアドバイスをもらったのは参考になりました。

あとは、インターンシップの選考を通してできた友人は大きな財

産だと感じています。学外の人と知り合う機会が少なかったので、様々な価値観を持った友人と話すことは大変刺激になりました。

これからインターンシップや就職活動を控えている理系学生にアドバイスをお願いします

自省を込めてですが、早い時期から志望業界や仕事を絞りすぎず、幅広く見たほうがいいと思います。私は最終的にIT業界（S i e r）へ行くことに決めたのですが、当初はあまり受けていませんでした。しかし、選考を通じて情報収集するうちに、IT業界にも自分にとって適性の高い会社や仕事があるということに気付くことができました。早い時期からあまり決め付けず、広く業界を見てそうした機会を増やすことが重要だと思います。時間的な制約がなければ、もっといろんなインターンシップに参加したかったですね。インターンシップを通じて自分の適性を見極め、取捨選択が楽になったのは確かなので、みなさんは時間が許す限りいろんな業界の仕事を経験してみてください。